

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和4年8月22日（月）午前10時から11時5分	
開 催 場 所	川島町役場 2階 中会議室	
議 題	(1) 町民等アンケートの実施状況について (2) ヒアリングの構成案について (3) 地域公共交通計画の骨子（案）及び施策（案）について (4) その他	
公開・非公開の別	公 開（傍聴者1名） ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	瀬間委員、斉藤委員、武藤委員、小川委員、桑原委員、石島委員、 江間委員、岩下委員、久保田委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、友野主幹、北尾主査、品川主任
配 布 資 料	会議次第、資料1～6	
審議会等の内容・概要		
1 開 会 2 会長あいさつ 3 報告事項 (1) かわみんタクシーについて(事務局にて資料1を用いて説明。) 4 議 事 (事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、 会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うことし、会議 録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。) 会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。斉藤委員、武藤委員にお願い する。 (1) 町民等アンケートの実施状況について（事務局にて資料2、3を用いて説明。）		

(2) ヒアリングの構成案について（事務局にて資料4を用いて説明。）

委員：中学3年生に9月～10月にヒアリングをするということだが、中学3年生は受験生であり、学校見学や塾などで、親も含めて一番忙しい。また、ヒアリングをするにあたって、ヒアリングの前段できちんと町ができること、できないことを説明しないとただ要望を言う会になってしまう。高校生にヒアリングをしたほうがいいのではないか。

事務局：中学3年生という対象については見直しを検討する。はじめは中学3年生が高校進学あたって、はじめて公共交通を考えるということで設定させていただいた。ヒアリングの前段での説明は丁寧にするようにする。

会長：子育て世帯にヒアリングする際は、親の雨の日の送迎等の時間的負担についても、細かくヒアリングしてもらいたい。

委員：ヒアリングの内容の地域公共交通で解決できること、そのために必要な対策について、どういう意味で聞くのか。

事務局：バス等で、現状の移動で困っている内容、どう改善したら利用するのか、また、現状で公共交通の認知度について、どうやったら上がるのか、どうやったら利用が増えるか等の意見も聞いていければいいと考えている。

(3) 地域公共交通計画の骨子（案）及び施策（案）について（事務局にて資料5、6を用いて説明。）

会長：来訪者向けアンケートについて実施するが、その成果はどの施策に結びつきそうか。

事務局：現状の施策（案）には特段関連付けていない。アンケートの結果次第で施策についても検討していく。

委員：資料6の施策（案）でかわみんタクシーのアプリについて記載があるが、導入について、現実的に実現しそうなものなのか、まだまだ先になってしまうものなのか。

事務局：配車アプリ自体は、すでに多くのタクシー会社で導入しており、あとは川島タクシーとの調整になる。川島町は高齢者が多く、電話しか利用しない人もいるが、アプリ自体の導入については検討していきたい。


会長：東武バスとかわみんタクシーの連動可能なアプリ等の検討と施策（案）で記載されているが、どこまでの連動を考えているか。

事務局：理想とすれば、配車から決済までできるものや、東武バスのバスのロケーションサービスと連動した配車などを想定して考えている。

(4) その他

事務局：次回の会議は10月下旬から11月をめどに開催を予定している。追って通知する。

5 閉 会

署 名	音 藤 光 広 
	武 藤 辰 也 